

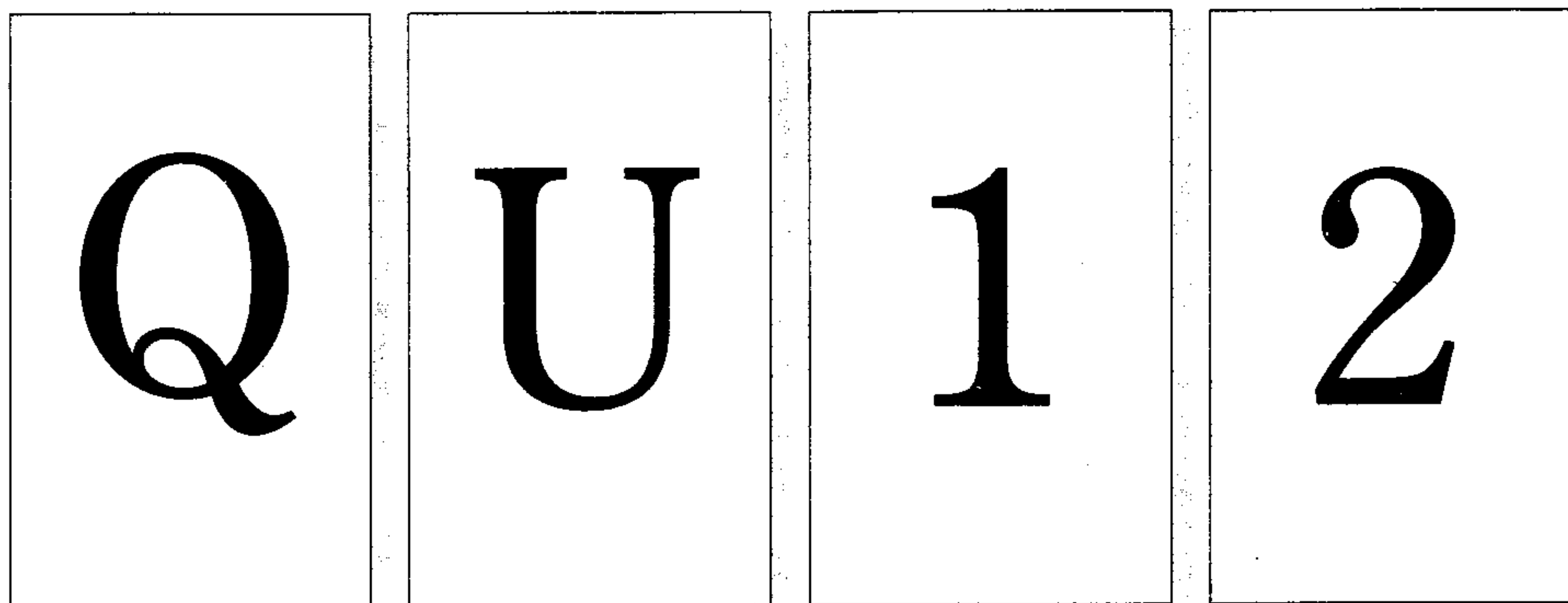
楽しく考える 大陸先生の読むパズル

問題 1

下のような、4枚のカードがあります。4枚のカードには、それぞれ片面に数字、もう片面にはアルファベットが書いてあります。

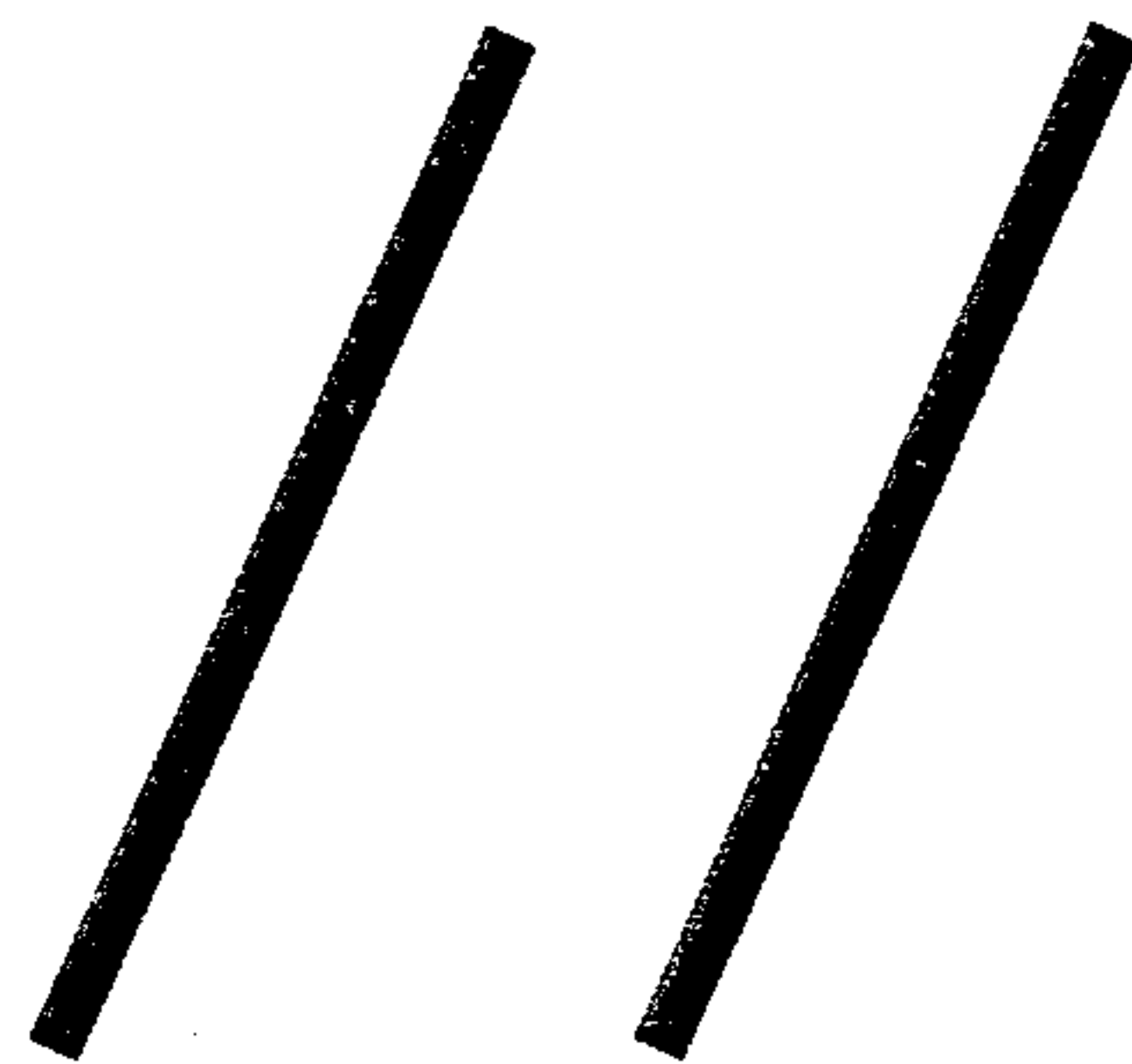
ここで問題です。

「片面に『U』が書いてあるカードの裏は、必ず『2』である」
このことが本当であることを証明するために、最低何枚めくらなければならないでしょうか。また、それはどのカードでしょうか。



問題 2

燃えつきるのにちょうど1時間かかる線香が2本あります。この2本を使って、45分を測ってください。ただし、折ったり、長さを測ったりしてはいけません。また、火をつける時間は考えないものとします。



例題

ある家族が、船を使って川の向こう岸へわたろうとしています。船は、2人乗りの船が1艘あるだけです。家族は「父、母、息子A、息子B、娘A、娘B、メイド、犬」の8人（犬も1人に数えます）。実は、この家族はとても危険な家族なのです！ この問題には以下の条件があります。

1. 船をこげるのは、父か、母か、メイドの3人
2. 岸でも船内でも、父は、母がいないと娘を殺してしまう
3. 岸でも船内でも、母は、父がいないと息子を殺してしまう
4. 岸でも船内でも、犬は、メイドがいないと家族全員を殺してしまう

みんなが無事に川をわたりきるには、最短で何回かかるでしょうか？

※答えは24ページにあります

大陸」を開いたわけです。「クイズ大陸」は、常時三〇〇〇問以上のクイズを載せている、参加型サイトです。クイズ好きの人々が、サイトについている掲示板を通して、交流してくれています。いまでは、一二〇万ヒットを突破しました。

一方、単行本の「読むパズル」には、「クイズ大陸」に寄せられた問題と、私が作ったオリジナル、または昔からの定番のクイズをアレンジしたものなど、全部で八四問を掲載しています。むしろ、紙

とエンピツを持って、気軽にチャレンジしてみてください。たとえわからなくても「頭を使って考える」ことが大切なのです。何問か読むうちに、理論的な思考や、柔軟な発想がぐんぐんと身についていきます。最近では、入社試験や、中高一貫校の入試問題で、このような論理クイズがよく出題されます。実際、勤務先である小学校の算数の授業などでも、私は論理クイズを多く取り入れています。授業のはじめに、「さあ、まずはクイズをしよう」と声をかけると、子どもたちも、楽しそうに目を光らせます。「考える」というと、むしろ、印象があります。論理クイズの基本は、楽しく頭を使うことです。ちょっと時間があいたときでも、手軽に固くなった頭を解きほぐすことができます。問題は簡単ではないかもしれませんが、それだけに答えがわかった瞬間は、考える喜びと、小さな充実感が味わえるはずです。